

第26期・第1回「共生社会に向けたケアサイエンス分科会」議事録（概要版）

日時：令和6（2024）年3月4日（月）10:00～12:00

参加者：熊谷晋一郎，森山美知子，西村ユミ，和氣純子，萱間真美，山本則子，臼井恵美子，大江美佐里，田中純子，荒井秀典，山田あすか

方法：オンライン会議

議事録：山田あすか

資料：

- (1). 【公表版】提言「ケアサイエンスの基盤形成と未来社会の創造」（第24期作成）.pdf
- (2). 未来の学術振興構想（25期作成）.pdf
- (3). 第25期・第6回少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会 議事録（概要版）引継ぎ.docx
- (4). 分科会設置提案書.doc

1. 委員長、副委員長、幹事の決定

- 以下の通り決定した
委員長…熊谷晋一郎（委員の互選），副委員長…森山美知子（委員長指名），
幹事…山田あすか，山川みやえ（委員長指名）

2. 分科会の活動内容について

- 資料(1)～(3)をもとに，本分科会の前身となる分科会までの活動経緯を振り返った。
- 資料(4)をもとに，本分科会の設置目的，審議事項，設置期間等の確認を行った。
- 出席者より，自己紹介，近年の関心事，分科会の活動についてフリートークで提案を得た。主たるトピックスは以下の通り
 - 共同と共生：共生社会，ケア共同社会，生きづらさの解消，属性ごとでないケア
 - ケアの拡がりとケアの社会化：ケアサイエンスの概念の構築，ケアの相互性，双方向性のあるケアの倫理
 - 主体的な自己決定，セルフケア：セルフケアのユニバーサルデザイン化
 - 虐待の防止：トラウマインフォームドケア，トラウマティックでないケア
 - 場所と身体性：ケアを実践する場所，実装活動，施設から地域へ，空間的隔離
 - ケア人材の育成と配置，ケアラー支援：ケアラーの立場の拡大，外国人ケアワーカー，支援者支援，ケアの地域移行に係るケアラー支援，介護と看護の連続的あるいはレイヤードな統合的システム，ケアのアロケーション，ダブルケア，ケアラー連盟，ケアラーズアクト，ケアする／される人へのスティグマ
 - ケア負担の格差の是正：ヤングケアラー，ケアとジェンダー，ケアしない特権，ケアに対するインセンティブ，素朴な負担感，ケアの蔑視・軽視，マーケットの介在
 - 論点／議論の領域の拡大：障がい，子供，子育て，ケアを受けながら働く，孤立・孤独
 - 共有と介入のための手法：ケアリテラシー尺度や生きにくさの測定ツール，チェックリスト，制度設計・制度化
 - ステークホルダーとの協働・協議，提言のフォローアップ：学会など学術団体，省庁，小中学校など教育機関，自治体

3. 今後について

- 次回は今期に行う一連のシンポジウムの企画を相談する。
- 医療，看護，保健「以外」の領域の参画と連携，学術団体や省庁との連携について，分担，方法，体制，費用の各内容を相談する。

以上